

新発売のご案内

切迫早産における子宮収縮抑制剤

マグセント®注シリンジ40mL

Magsent® Injection Syringe 40mL

2011年10月

2011年11月21日発売

製造販売元
東亜薬品工業株式会社
東京都渋谷区笹塚2丁目1番11号発売元
東亜新薬株式会社
東京都新宿区西新宿3丁目2番11号販売
鳥居薬品株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1

謹啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

弊社では、切迫早産における子宮収縮抑制剤「マグセント®注100mL」(ボトル製剤)を販売いたしておりますが、このたび、プレフィルドシリンジ製剤「マグセント®注シリンジ40mL」を発売させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後とも、より一層のご愛顧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白

製剤写真



1. 包装内容・サイズ

製品名	包装	個装箱		元梱		
		サイズ (mm)	重量	サイズ (mm)	入数	重量
マグセント注シリンジ40mL	6シリンジ	縦246×横164×高さ90	590g	縦509×横430×高さ197	10箱	6.5kg

2. 統一商品コード・JANコード等

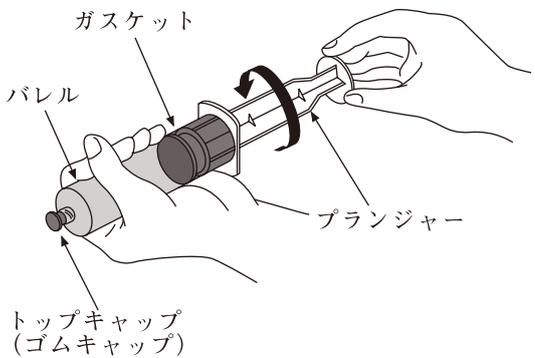
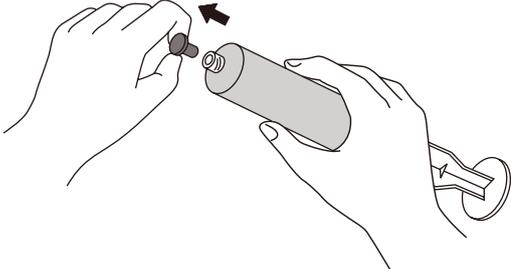
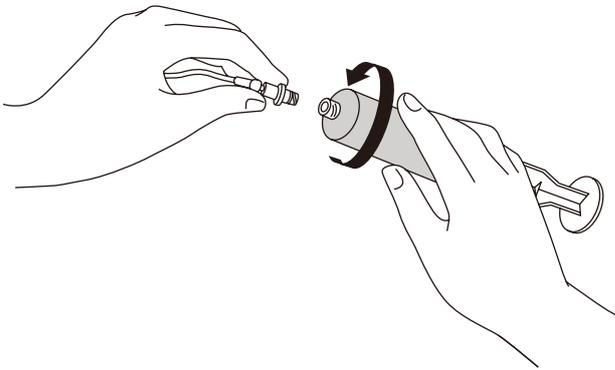
単位当り薬価基準	包装薬価 (6シリンジ)	薬価基準収載医薬品コード	レセプト電算処理用コード
1シリンジ 1,596円	9,576円	2590500G1026	622086601
統一商品コード	JANコード	GS1-RSS (販売包装単位)	GS1-RSS (調剤包装単位)
158714620	 4 987158 714620	 (01)14987158714627	 (01)04987158597155

3. 備考

日本標準商品分類番号	使用期限	規制区分	HOT番号	貯法
87259	3年	処方せん医薬品 ^{注)}	1208665010101	室温保存

注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

4. シリンジ投与の注意

マグセント®注シリンジ40mLの取扱い上の注意	マグセント®注シリンジ40mLの操作方法
<p>【取扱い上の注意】 〈使用前の注意〉</p> <p>(1) 本シリンジの使用にあたっては、適合するシリンジポンプを使用すること。</p> <p>(2) バレル内壁に気泡が付着することがあるため、また、シリンジが破損するおそれがあるため、強い衝撃を避けること。</p> <p>(3) ピロー包装は使用直前まで開封しないこと。</p> <p>(4) 薬液が漏れている場合や、薬液に着色や混濁等の異常が認められた場合には使用しないこと。</p> <p>(5) シリンジに破損等の異常が認められるときは使用しないこと。</p> <p>(6) シリンジ先端のトップキャップを外した後、シリンジ先端部に触れないこと。</p>	<p>1. 外袋を開封し、バレル及びプランジャーを取り出す。</p> <p>2. バレルにプランジャーを装着する。</p> <p>【注意】・プランジャーを回転させてガスケットにしっかり装着する。</p> 
<p>〈投与時の注意〉</p> <p>(1) バレルを強く握らないこと。〔液漏れする可能性がある。〕</p> <p>(2) プランジャーは、しっかりと接続すること。〔使用中にプランジャーが外れた場合、サイフォニング（自然落下による急速注入）や逆流が起こるおそれがある。〕</p> <p>(3) シリンジポンプにセットする前に、十分注意してバレル内のエアを抜き取った後、シリンジ先端に、注入ラインの接合部をしっかりと装着・ロックすること。〔不十分な場合、接合部位のはずれ、接合部位からの液漏れや注入ライン内へのエア混入が起こることがある。〕</p> <p>(4) シリンジポンプの送り機構（スライダー）のフックに確実にセットすること。〔正しくセットされていない場合、サイフォニング（自然落下による急速注入）や逆流が起こるおそれがある。〕</p> <p>(5) シリンジポンプにセットした後、患者に静脈針を穿刺する前には、使用するシリンジポンプの指定する方法に従い、必ずプライミング（注入経路のエア抜き等）を行うこと。</p> <p>(6) シリンジポンプと注入ライン先端（投与部位）の落差はできるだけ小さくすること。〔高低差によるサイフォニング現象により、薬液の急速注入が起こることがある。また、落差と接合部の装着・ロックが不十分であることが重なると注入ライン内へのエア混入が助長される可能性がある。〕</p> <p>(7) 投与中は注入ラインの破損、接合部の緩み及び薬液漏れ等について定期的に確認すること。</p> <p>(8) 開封後の使用は一回限りとし、使用後の残液は容器とともに速やかに廃棄すること。</p> <p>(9) シリンジの再滅菌・再使用はしないこと。</p>	<p>3. シリンジ先端のトップキャップを外す。</p> <p>【注意】・薬液が飛び散る可能性があるため、注意する。 ・トップキャップを外した後、シリンジ先端部に触れないこと。</p>  <p>4. シリンジポンプにセットする前に、十分注意してバレル内のエアを抜き取った後、シリンジ先端に、注入ラインの接合部をしっかりと装着・ロックする。</p> 
	<p>5. シリンジポンプの取扱い説明書に従って投与する。</p>

【問合わせ先】

* 詳細につきましては、担当者または東亜薬品工業(株) 学術情報部(03-3375-0511)までお問い合わせ下さい